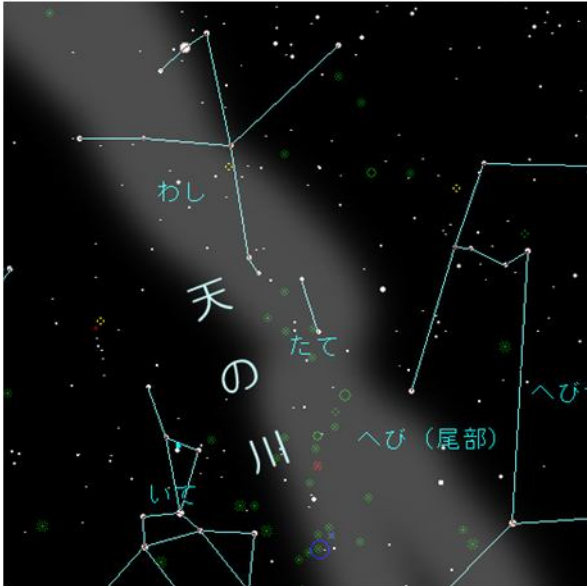


「天の川をめぐる星座(2) ~たて座」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

全天の星座は全部で88ある。その中でも「たて座」を知っていれば、相当に星座に詳しい方だろう。みなみのかんむり座よりも、更に不遇な星座といえる。

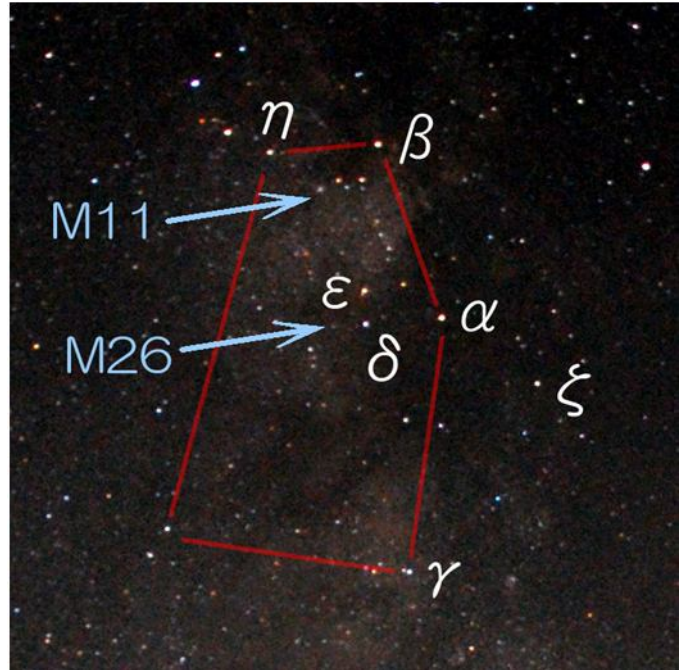


星図を見ても、星座線で結ばれているのは、2個の恒星だけである。これだけでは、「たて」の姿は思い浮かばず、とら座、プラナリア座、ピカチュウ座、東銀座など、他のどんな星座にも当てはまってしまう。



その反面たて座は、完全に天の川の中にある星座である。暗い星ばかりなので、「南斗六星の上、天の川の中にある」という探し方をするしかない。

たて座は「縦座」ではなく「楕座」である。古い星図を見ると、2個ではなく5個の星が星座線で結ばれ、確かに「楕」の形をしている。



最も明るい α 星でも、等級は3.8等。ただし、この星は橙色巨星で、望遠鏡や双眼鏡で見ると赤っぽく見えるのが面白い。散開星団 M11、M26 といった、小望遠鏡でも観望可能な星団も含む「優秀な」星座である。特に M11 はすばらしい。青白い星が集まっていて、宝石箱のようである。この星団は、鴨の群れが飛んでいるようだと形容され、「野鴨星団」と呼ばれている。5.8等級なので、肉眼でもかすかに見える。



「散開星団 M11」 長野県川上村で撮影
タカハシ P2 残念ながらピントが非常に甘い。